

10 - 2 世界の地震活動 (2025 年 11 月～2026 年 4 月)

Seismic Activity in the World (November 2025 – April 2026)

気象庁

Japan Meteorological Agency

今期間、世界で Mw6.0 以上の地震は 61 回発生し、Mw7.0 以上の地震は 7 回発生した。このうち Mw の最大は、2026 年 3 月 24 日 (日本時間) にトンガ諸島の深さ 229km で発生した Mw7.5 の地震 (Global CMT による) であった。

2025 年 11 月～2026 年 4 月の M6.0 以上の地震の震央分布を第 1 図 (a) 及び (b) に示す。

主な地震活動は以下のとおりである。特段の断りがない限り、Mw 及び発震機構 (CMT 解) は気象庁、そのほかの震源要素は USGS による (2026 年 5 月 11 日現在)。また、時刻は日本時間である。

(1) アフガニスタン、ヒンドゥークシの地震 (Mw6.3, 第 2 図)

2025 年 11 月 3 日 05 時 29 分 (日本時間, 以下同じ) にアフガニスタン、ヒンドゥークシの深さ 28km で Mw6.3 の地震 (Mw は Global CMT によるモーメントマグニチュード) が発生した。この地震の発震機構 (Global CMT による) は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震により、死者 26 人、負傷者 1,172 人などの被害が生じた (被害は、2025 年 12 月 1 日現在, 国連人道問題調整事務所による)。

(2) バングラデシュの地震 (Mw5.4, 第 3 図)

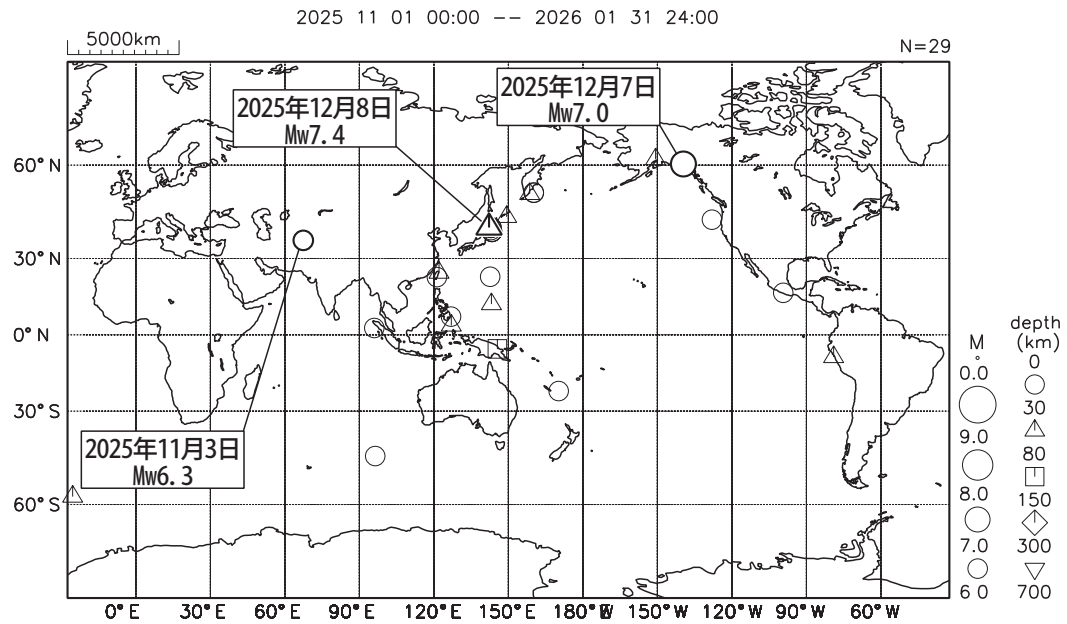
2025 年 11 月 21 日 13 時 38 分 (日本時間, 以下同じ) にバングラデシュの深さ 27km で Mw5.4 (Mw は Global CMT によるモーメントマグニチュード) の地震が発生した。この地震の発震機構 (Global CMT による) は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、バングラデシュで死者 10 人、負傷者 507 人などの被害が生じた (被害は、2025 年 12 月 1 日現在, 国連人道問題調整事務所による)。

(3) モルッカ海北部の地震 (Mw7.4, 第 4 図)

2026 年 4 月 2 日 07 時 48 分 (日本時間, 以下同じ) にモルッカ海北部の深さ 35km で Mw7.4 (Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード) の地震が発生した。この地震の発震機構 (気象庁による CMT) は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、北ハナミサ (インドネシア) で 0.75m などの津波を観測した。今回の地震により、死者 1 名、負傷者 1 人などの被害が生じた (被害は、2026 年 5 月 1 日現在, 国連人道問題調整事務所による)。

世界の地震活動 (2025年11月～2026年1月、 $M \geq 6.0$)

震源は米国地質調査所 (USGS、2026年2月4日現在)、吹き出しの M_w (モーメントマグニチュード) は気象庁による。
ただし、11月3日 ($M 6.3$) アフガニスタン、ヒンドークシの地震の M_w はGlobal CMT、12月7日 ($M_w 7.0$) 米国、アラスカ州南東部の地震の M_w はUSGSによる。



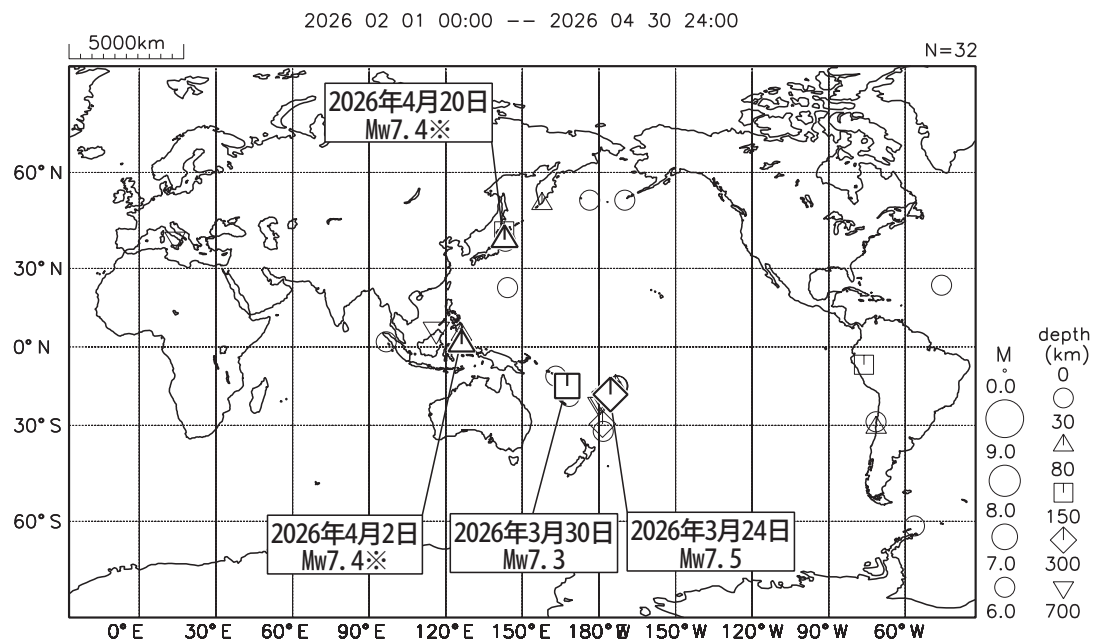
気象庁が遠地地震に関する情報を発表した地震及び顕著な災害があった地震に吹き出しを付けた。

第 1 図 (a) 世界の地震活動 (2025 年 11 月～2026 年 1 月、 $M \geq 6.0$ 、深さ ≤ 700 km)

Fig. 1(a) Seismic activity in the World (November 2025 – January 2026, $M \geq 6.0$, depth ≤ 700 km).

世界の地震活動 (2026年2月～4月、 $M \geq 6.0$)

震源は米国地質調査所 (USGS、2026年5月7日現在)、吹き出しの M_w (モーメントマグニチュード) はGlobal CMTによる。
ただし、4月2日モロッコ海北部 ($M_w 7.4$) 及び4月20日 (三陸沖の地震の M_w は気象庁による。



気象庁が遠地地震に関する情報を発表した地震及び顕著な災害があった地震に吹き出しを付けた。

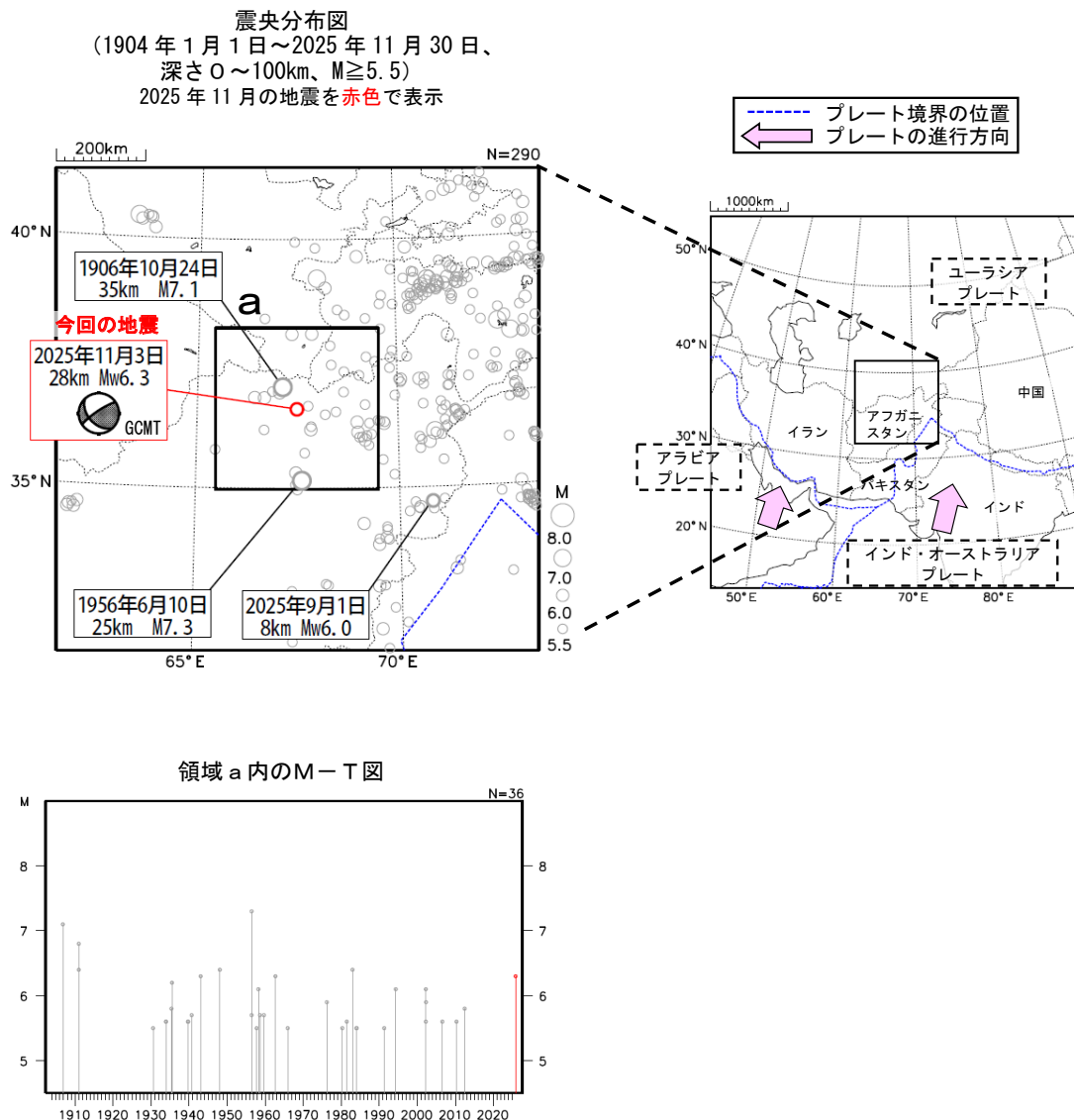
第 1 図 (b) つづき (2026 年 2 月～4 月、 $M \geq 6.0$ 、深さ ≤ 700 km)

Fig. 1(b) Continued (February – April 2026, $M \geq 6.0$, depth ≤ 700 km).

11 月 3 日 アフガニスタン、ヒンドゥークシの地震

2025 年 11 月 3 日 05 時 29 分（日本時間、以下同じ）にアフガニスタン、ヒンドゥークシの深さ 28km で Mw6.3 の地震（Mw は Global CMT によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（Global CMT による）は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震により、死者 26 人、負傷者 1,172 人などの被害が生じた。

1904 年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域 a）では M6.0 以上の地震が時々発生している。1956 年 6 月 10 日には M7.3 の地震が発生し、死者 350 人などの被害が生じた。



※震源要素は、2021 年までは ISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12(1904-2021)、2022 年以降は米国地質調査所 (USGS) による (2025 年 12 月 1 日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及び Mw は Global CMT による。今回地震の被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2025 年 12 月 1 日現在)、その他の地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置とプレートの進行方向は Bird (2003)^{*1} より引用。

^{*1} 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

第 2 図 2025 年 11 月 3 日アフガニスタン、ヒンドゥークシの地震 (Mw6.3)

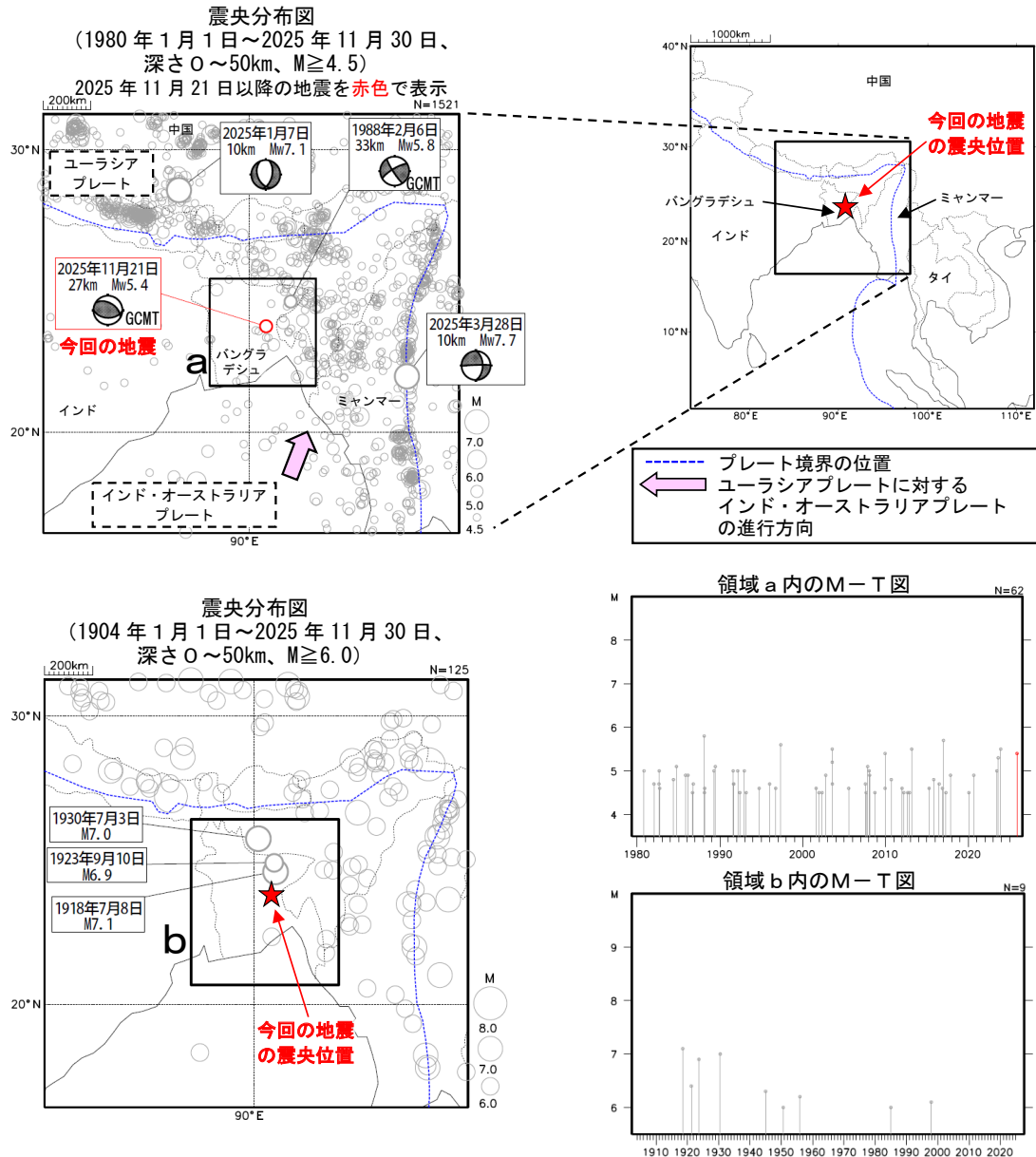
Fig. 2 The earthquake in Afghanistan, Hindu Kush (Mw6.3) in November 3, 2025.

11 月 21 日 バングラデシュの地震

2025 年 11 月 21 日 13 時 38 分（日本時間、以下同じ）にバングラデシュの深さ 27km で Mw5.4 の地震（Mw は Global CMT によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（Global CMT による CMT 解）は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、バングラデシュで死者 10 人、負傷者 507 人などの被害が生じた（2025 年 12 月 1 日現在）。

1980 年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域 a）では M5.0 以上の地震が時々発生している。1988 年 2 月 6 日には Mw5.8 の地震が発生し、死者 2 人、負傷者 100 人などの被害が生じた。

1904 年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域 b）では M6.0 以上の地震がまれに発生している。1923 年 9 月 10 日には Mw6.9 の地震が発生し、死者 50 人などの被害が生じた。



※震央分布図のうち、上図内の震源要素は、米国地質調査所 (USGS) による (2025 年 12 月 1 日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及び Mw は、2025 年 1 月 7 日の地震及び 2025 年 3 月 28 日の地震は気象庁、1988 年 2 月 6 日の地震及び今回の地震は Global CMT による。下図内の震源要素は、2021 年までは ISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12 (1904-2021)、2022 年以降は米国地質調査所 (USGS) による (2025 年 12 月 1 日現在)。地震の被害は、今回の地震は OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2025 年 12 月 1 日現在)、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置とプレートの進行方向は Bird (2003)^{*1} より引用。

^{*1} 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

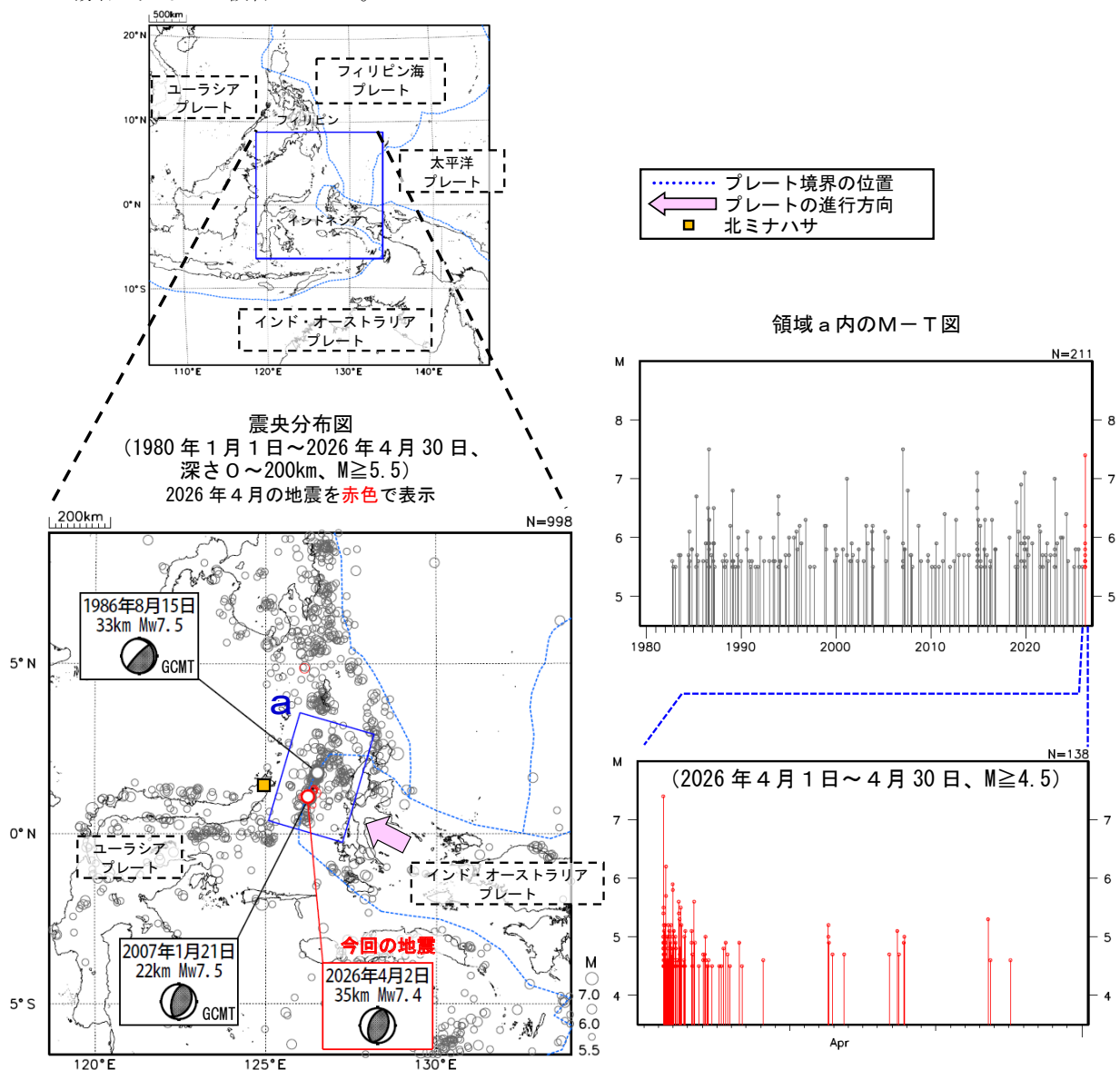
第 3 図 2025 年 11 月 21 日バングラデシュの地震 (Mw5.4)

Fig. 3 The Earthquake in Bangladesh (Mw5.4) on November 21, 2025.

4 月 2 日 モルッカ海北部の地震

2026 年 4 月 2 日 07 時 48 分 (日本時間、以下同じ) にモルッカ海北部の深さ 35km で Mw7.4 (Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード) の地震が発生した。この地震の発震機構 (気象庁による CMT 解) は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。気象庁はこの地震に対して、同日 08 時 19 分に遠地地震に関する情報 (日本沿岸で若干の海面変動あり) を発表した。この地震により、北ミナハサ (インドネシア) で 0.75m などの津波を観測した。今回の地震により、死者 1 人、負傷者 1 人などの被害が生じた。

1980 年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域 a) では M7.0 以上の地震が時々発生している。2007 年 1 月 21 日には Mw7.5 (Global CMT による) の地震が発生し、死者 3 人、負傷者 4 人などの被害が生じた。



※震源要素は、米国地質調査所 (USGS) による (2026 年 5 月 1 日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及び Mw は、2026 年 4 月 2 日の地震は気象庁による、それ以外の地震は Global CMT による。津波の高さは米国海洋大気庁 (NOAA) による (2026 年 5 月 1 日現在)。今回地震の被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2026 年 5 月 1 日現在)、その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置とプレートの進行方向は Bird (2003)* より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

第 4 図 2026 年 4 月 2 日モルッカ海北部の地震 (Mw7.4)

Fig. 4 The Earthquake in the northern part of Molucca Sea (Mw7.4) on April 2, 2026.